

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は11月9日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 新設の「お米で健康推進部会」は「お米で健康イニシアティブ」の設立を目指しています

2021年9月に新たに設立された「お米で健康推進部会」は、早くもこの部会を核とした国民運動の実践組織として「お米で健康イニシアティブ」設立の準備に入りました。

コメをめぐる昨今のわが国の状況は、生産、流通、消費の全般にわたり、既に危機的な段階に至っています。コメの消費量は、1962年をピークに一貫して減少傾向にあり、1970年から2017年までおよそ50年にわたって実施された「減反政策」などの生産調整も需要減に追い付かず、米価が底割れするような事態にもなっています。

2000年代以降、国が主導した健康推進運動としては「メタボキャンペーン」があり、肥満や内臓脂肪のリスクに対する国民の理解を広げたという点で大きな意義がありましたが、その反面、行き過ぎた糖質制限や主食であるコメをしばしば「悪者」扱いするような傾向が生まれてしまいました。当部会は、そのような傾向が国民の健康基盤そのものを毀損することになるのではないかという強い危機感から生まれました。

この部会の目的は、お米の健康効果の研究を推進し、より健康効果を高める食べ方を普及することにより、国民の健康レベル向上と健康寿命の延伸に貢献することにあります。この目的を速やかに大規模に展開するには、当部会が中核となって広範なメンバーを擁する外部任意組織（イニシアティブ）を立ち上げ、その組織力を以って国民的なキャンペーンを展開する必要があると考えます。

当部会では、コメ消費の量の拡大と質の向上を目指して、糖質制限ダイエットの問題点を探り、誤解を解き、一方でアカデミアにおける研究者・理解者の増強を図りながら、このような活動を国民運動に拡大するための「お米で健康イニシアティブ」の設立を目指します。

2. 在宅感染症予防部会が昨年実施した「マスク研究」が日本臨床薬理学会学術総会で「優秀演題賞」を受賞しました

昨年のコロナ禍のど真ん中で、在宅感染症予防部会が実施したマスク研究がベースとなって行われた「マスク着用時の口腔衛生環境変化に対するアロマ成分複合体DOMACの影響」が、12月9日～11日、仙台市で開催された第42回日本臨床薬理学会学術総会で「優秀演題賞」を受賞しました。ポスター発表は同部会構成員のUHA味覚糖㈱加藤梨那さんが務められ、座長の先生からも「本研究は今後大変大きな伸びしろがあるもの」との激励を受けました。今後、n数を拡大し、年齢層・男女比等の妥当な研究に拡大していくことが望まれます。



3. その他

- (1) 健康まちづくり部会は、酒井直人・中野区長からの連携提案を受けて12月2日（木）開催のWGで連携事業内容の検討を行いました。
- (2) 昭和女子大学寄附講座は、11月18日日本橋講師（健康コンサルジュ）25日横田講師（食と健康ビジネス）、12月2日大西講師（美容とフィットネス）、9日平野講師（データベースマーケティング）と順調に進行しています。
- (3) 11月末に期限終了となったサンドボックス実証実験の最終報告書要旨は、内閣官房のホームページと時期を合わせて、J A H I のホームページにも掲載されます。